

## 第3学年 家庭科実践事例モデル(在籍学級)

### (1) 単元(または題材)名

「幼児にふさわしいおやつを考えよう！」

### (2) 対象生徒の状況

対象生徒	母語 (出身国)	日本語習得状況	家庭科に関する力
A	タガログ (フィリピン)	4歳の時来日。小学4年生から学校に通い始め、ひらがな・カタカナ、算数の九九や読書など家庭学習のみであった。日常生活の日本語の読み書きは問題ない。作文も自分の力で書ける。母語での学習期間がなく日本語での学習期間が長いため、読み書きは母語よりも日本語の方を得意としている。	幼少期を母国、または家庭のみで過ごしたため、日本の「幼児のおやつ」に関するスキルは少ない。
B	ビザイア (フィリピン)	小学5年来日。体が弱く小学校の頃から欠席が多い。学習については真面目で前向きに取り組める。日常生活での日本語には困らないが、文章の読み取りや筋道を立てて何かを説明するということがまだまだ苦手である。	幼少期を母国で過ごしたため、日本の「幼児のおやつ」に関するスキルは少ない。
C	ビザイア (フィリピン)	中学1年来日。2年生の後半から卒業後の進路の不安もあり、遅刻・欠席が多い。聞く・読むことは、ある程度出来るようになったが、漢字の読みは、小学校2年生程度で、文章の読み取りはきびしい。自分の考えを言おうとしても、言えずに固まってしまうたり、途中でやめたりしてしまうことがある。	幼少期を母国で過ごしているため、日本の「幼児のおやつ」に関するスキルは少ない。
D	タガログ (フィリピン)	今年4月中旬に来日、初期適応指導教室に通級中。挨拶以外の日本語は全く話せず理解できなかったが、真面目で明るく活動的な性格で、友達にも積極的に関わる。わからない時は友達や先生には英語で尋ねたり、すぐに聞ける。日本語の習得のペースも速い。卒業後は日本の高校に進学を希望している。	幼少期を母国で過ごしているため、日本の「幼児のおやつ」に関するスキルは少ない。

### (3) 単元(又は題材)の指導計画・指導方針

指導計画(全4時間)

- 1 幼児のおやつについて考えよう! 1時間(本時)
- 2 幼児のためのおやつを考えよう 1時間
- 3 実習 2時間

日ごろから言葉だけの授業では、イメージしにくいこともあると考えている。そこで、妊婦体験などの疑似体験をしたり視聴覚教具を活用したりしての学習を行っている。本時も視覚教材を活用して課題に取り組み、教科の内容の定着をはかりたいと考えている。また、今の明るいクラスの雰囲気大切にしながら、理解支援・記憶支援・表現支援も積極的に取り入れ授業展開をしていきたいと考えている。

**(4) 単元 (又は題材) の目標**

## ①教科の目標

- ・おやつ必要性について理解する。
- ・幼児にふさわしいおやつについて考え、理解する。

## ②日本語の目標

- ・「幼児」「おやつ」「ふさわしい」「役割」「栄養」「味」という言葉の意味が理解できる。

**(5) 単元の指導 (全2時)**

次	学習活動	教師の働きかけ (発問○) 日本語表現の支援 (●)	指導上の工夫・留意点 (板書・ワークシート等)
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>本時 (次) の目標</b></p> <p>①教科の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おやつ必要性について理解する。</li> <li>・幼児にふさわしいおやつについて考え、理解する。</li> </ul> <p>②日本語の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>幼児</b> <b>おやつ</b> <b>ふさわしい</b> <b>役割</b> <b>栄養</b> <b>味</b>という言葉の意味が理解できる。</li> </ul> <p>◎ターゲットセンテンス</p> <p>パターン①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T: 「幼児にふさわしいおやつは何ですか。」 S: 「～は幼児のおやつにふさわしいと思います。」 S: 「～は幼児のおやつにふさわしくないと思います。」</p> </div> <p>パターン②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>T: 「どのようなことに気をつけておやつが考えられていますか。」 T: 「幼児のおやつのは、何ですか。」 S: 「幼児のおやつのは、～です。」</p> </div> </div>		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする</li> <li>・本時のねらいを聞く</li> <li>① 事前のおやつアンケートの結果を確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「あなたはおやつを食べますか。」「どんなときにおやつを食べますか。」のアンケート結果を発表します。</li> <li>○「中学生にとっておやつは 空腹時、休息や気分転換をするために食べるものである。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に事前のアンケート結果を提示する。</li> <li>*中学生にとっては、「おやつは空腹時、休息や気分転換をするために食べる」という意見が多いことを確認する。</li> </ul>

2

②おやつアンケートの中から、幼児にふさわしいおやつとふさわしくないおやつについて考える

\*予想として、中学生が小さい頃に食べた記憶のあるものや、幼児のイメージが強いものが多いと思われる。

② A 保育園で出されているおやつを試食を行う

③ A 保育園のおやつ献立表を資料として提示する「なぜ、このようなおやつを出しているのか」を考える。

④ 幼児にふさわしいおやつとはどのようなものなのか、どのようなことに気をつけておやつが考えられているのかを考える。

⑤授業の感想を書く。

○「みんながよく食べるおやつを発表します。」

○「幼児はどんなおやつを食べているだろう。」

○「幼児にふさわしいおやつとふさわしくないおやつにわけてください。」

●「□は幼児のおやつにふさわしいと思います。」

●「□は幼児のおやつにふさわしくないと 생각합니다。」 反復練習をする。

○「食べてみて、どんなことに気づきましたか。」

○「気づいたことをいってください。」

●「～と思います。」

○「この資料を見てください。どんなことに気づきましたか。」

○「気づいたことをいってください。」

●「～と思います。」

○「幼児にふさわしいおやつとはどのようなものなのか」

○「どのようなことに気をつけておやつが考えられていますか」

●「幼児のおやつのは、～です。」  
予想される生徒の意見

・幼児にとっては食事の一部なので、栄養がたくさんとれるように工夫されています。

・野菜などを使っており、好き嫌いなく食べられるよう工夫されています。

・あまいものばかりではありません。

・手作りのおやつが多く、栄養や安全について配慮されています。

・せんべいなどかみごたえがあるものです。

・おやつが楽しみに感じられるように作られています。

●「幼児のおやつのは、～です。」

「幼児にとっておやつは、食事の一部である。」の反復練習をする。

・ワークシートにフリガナをふっておく。

・A 保育園で出されているおやつである「マカロニあべかわ」を実物資料として用意し、試食を行う。

・机間指導しながら、グループの進み具合をみる。

\*生徒がイメージしている「甘くて、柔らかいお菓子」とは違うおやつを用意し、「おやつらしくない」「なぜ、このようなものをおやつとして食べているのかな」という疑問を持たせたい。

**(6) 板書及びワークシート・配付資料**

板書・ワークシートは同様

今日のテーマ

☆ステップ1 幼児にふさわしいおやつは、何ですか。

①  は、幼児のおやつにふさわしいと思います。②  は、幼児のおやつにはふさわしくないと 思います。

☆ステップ2 A保育園の「マカロニあべかわ」を食べてみてわかったことを書こう。

① 食べてみて、 と思いました。① 食べてみて、 と思いました。① 食べてみて、 と思いました。① 食べてみて、 と思いました。① 食べてみて、 と思いました。

☆ステップ3 A保育園の献立を見て、気づいたことを書こう、

① 献立をみて、 と思いました。① 献立をみて、 と思いました。① 献立をみて、 と思いました。

☆ステップ4

どのようなことに気をつけておやつが考えられていますか。

① 幼児のおやつの条件は、 です。① 幼児のおやつの条件は、 です。① 幼児のおやつの条件は、 です。① 幼児のおやつの条件は、 です。① 幼児のおやつの条件は、 です。① 幼児のおやつの条件は、 です。① 幼児のおやつの条件は、 です。① 幼児のおやつの条件は、 です。① 幼児のおやつの条件は、 です。☆幼児にとっておやつは、 の一部である。**(7) 単元を通じての成果と課題**

本授業では、日ごろから言葉だけの授業ではイメージしにくいこともあるので実際に体験を取り入れ、視覚教具を活用しての学習を積極的に行った。また、グループ学習を取り入れることによって、グループ内での教え合い・聞き合いも行われたため、課題内容も理解しやすく教科内容の定着に有効であったと思われる。今後も理解支援・記憶支援・表現支援を積極的に取り入れた授業展開をしていきたいと考えている。